

【概要】ここでは、Excel で 1 行おきにセルの色を変える方法を説明します。

【内容】Excel で 1 行おきにセルの色を変えるには、「条件付き書式」機能を使います。「条件付き書式」とは、ユーザーが設定する条件を満たしたセルに対してのみ、フォント / 罫線 / セルの色などの書式を設定する機能のことを言います。この機能を利用して、下図のように偶数行のセルを黄色に、奇数行のセルを水色にしてみます。

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

【操作手順】

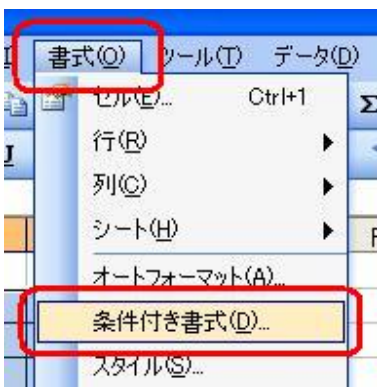
1. 1 行おきにセルの色を変えたい表の全体をドラッグして選択します。

《ドラッグして選択後》

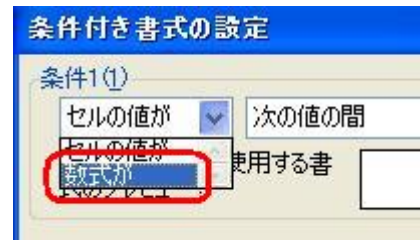
	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

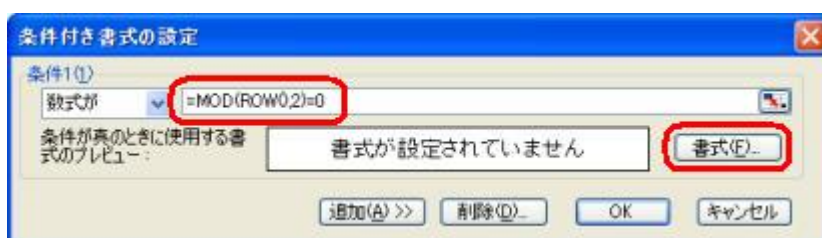
2. 画面上部のメニューから、「書式」→「条件付き書式」をクリックします。



3. 「セルの値が」をクリックして



4. 表示される空欄に、「=MOD(ROW(),2)=0」と入力し、「書式」をクリックします。



- 「パターン」をクリックします。
続いて、「黄色」をクリックし、「OK」をクリックします。



- 「追加」をクリックします。



- 「条件 2」が表示されますので、上記の手順 3.~5.を繰り返してください。
ただし手順 4. では「=MOD(ROW(),2)=1」を入力し、手順 5. では「水色」を選択します。



- 1 行おきにセルの色が設定されました。

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			